

特別国民体育大会選手選考基準

Ver.20230526

(一財)栃木陸上競技協会 強化委員会

1. 国体予選競技会 ※栃木陸協の指定する国体参加資格が取得できる大会

- 栃木陸上競技協会記録会(第1回)
- 栃木県陸上競技春季大会
- 栃木県高等学校総合体育大会陸上競技大会
- 栃木県陸上競技選手権大会
- 全日本中学校通信陸上競技大会栃木県大会
- 栃木県 U18/U16 陸上競技記録会
- 国民体育大会陸上競技栃木県予選会 兼 国体選考記録会

※上記1. の国体予選競技会に出場しなかった選手、または出場しなかった種目については選考対象外となる(下記 2. の選考対象競技会のみ出場では選考対象外。但し、トップアスリート参加資格特例措置対象者等の特例を除く)

※少年Bの категорияに出場意志がある選手は、国民体育大会陸上競技栃木県予選会に必ず出場すること。

2. 選考対象競技会(参考競技会)

※選考するには以下の競技会の実績も参考とする。

- 1) 成年
日本選手権・日本グランプリシリーズ(プレミア含む)・各地区インカレ・各地区実業団・日本学生個人選手権
- 2) 少年 A・B・共通(高校生)
U20 日本選手権・関東高等学校陸上競技大会・全国高等学校陸上競技選手権大会
- 3) 少年 B・共通(中学生)
関東中学校陸上競技大会

3. 選考基準

- 1) 国体選考記録の有効期間は、2023年4月1日～2023年7月16日までとし、全国ランキングは、選考会議までに陸上競技ランキングに反映されたものを参照する。(長距離種目においては、2022年10月1日～2023年3月31日までも参考記録とする)
- 2) 日本選手権大会および U20 日本選手権上位入賞者を最優先とする。
- 3) その他の成年選手は、栃木県陸上競技選手権大会の結果を重視して選考する。
- 4) 少年 B 種別の選手は、国体栃木県予選会の結果を重視する。
- 5) 国体において入賞する可能性が高いと判断(概ね全国ランキング 16 位程度まで)される選手がいる種目から選考する。その際の優先順位は以下の通りとする。※少年種別は種別県別ランキング

①日本選手権上位入賞者	②全国ランキング上位者(入賞可能な選手)	③リレー編成	④その他
-------------	----------------------	--------	------
- 6) 国体入賞可能な候補者が複数存在する場合は、国体予選競技会(特に成年選手は県選手権、少年選手は国体栃木県予選会)および各種選考対象競技会(参考競技会)の結果を考慮して実績のある者を選考する。
- 7) 特に少年種別において、項目 4)～5) で決定できない場合(今季ベスト記録に差がない、または、全国高校総体・関東高校で入賞者が複数いるか、特筆する結果がない場合)は、国民体育大会陸上競

技栃木県予選会の結果を重視して選考する。

- 8) リレー種目については、リレーの特性が活かされるメンバー編成を考慮して選考する。特に、混合 4×400mR の選考については、200m および 400m の記録を重視する(上記 1. 国体予選競技会または 2. 選考対象競技会のいずれかで 400m に出場していることが望ましい)。但し、リレー種目のチーム編成に関して次のような状況の場合は編成しないこともあり得る。

○リレー編成メンバーのうち個人出場種目が複数でない場合。

- 9) 少年男子 B3000m の選考については、国民体育大会陸上競技栃木県予選会の結果を重視する。ただし、中学生がいる場合は、直近の国体 3 大会における決勝進出ラインの平均タイムを突破しており、且つ、国民体育大会陸上競技栃木県予選会において優勝した者を選考対象とする。

【直近国体 3 大会 少年男子 B3000m 決勝進出ラインの平均タイム】	8 分 38 秒 05
---------------------------------------	-------------

- 10) 上記の過程による選考を終えても国体出場最大枠である 29 名に満たない場合は、29 名以下での選考もあり得る。

4. 確認事項・その他

- 1) 国体に参加意思がある競技者は、以下の参加人員・出場制限・国体参加資格等および別紙の「国民体育大会参加資格について(選手用)」を必ず一読してください。
- 2) 全国ランキングの数字は、国体候補選手の内定と直結するとは限りません。
- 3) 選考対象選手であっても、選手選考時点で怪我や病気等の問題が生じている選手については選考されない場合があります。
- 4) 国体候補選手の内定(決定)については、(一財)栃木陸上競技協会 理事会の承認を経た後、所属長宛または本人宛に決定通知を郵送します。(8月上旬頃までに)
- 5) 選手内定(決定)後に、怪我や病気等の問題が生じた選手や栃木県を代表とする国体選手として不適切な行動が確認された選手については、選手変更をする場合があります。
- 6) 内定(決定)後は、パーソナルコーチと強化コーチとの連携を密にとり、ケガ無く国体までの準備と調整を進めてください。

(参加人員・出場制限・国体参加資格等)

【参加人員】

- 選手団編成：監督 2 名、選手 29 名（男子選手 19 名以内、女子選手 19 名以内）計 31 名以内で編成する。監督、選手の兼務は 1 名とする。この場合は参加選手を 30 名とすることができる。
- 1 種目 1 名、同一人の出場は 2 種目までとする。ただし、リレーは除く。
- (一財) 栃木陸上競技協会が定める上記 1. の県国体予選競技会に出場しなかった選手、または出場しなかった種目については選考対象外となる。(予選会免除対象大会出場者およびトップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置を除く)ただし、1 種目の予選のみに出場し、その種目の代表選手となった者は、予選に出場しなかった他の 1 種目にも出場することができる。
- 4×100m リレーチームの編成は、男女とも成年、少年 A、少年 B から各 1 名、残りの 1 名は成年、少年 A、少年 B のいずれかの種別とする。
- 男女混合 4×400m リレーチームの編成は、男女とも少年 A もしくは少年 B から各 1 名、残りの男女各 1 名は成年、少年 A、少年 B のいずれかの種別とする。
- リレーに出場する者は、予選会のどの種目であっても参加していれば出場できる。
- 成年男子 10000m 競歩の出場者は、5000m 競歩の予選を経た者でもよい。少年男子共通 5000m 競歩、成年女子 5000m 競歩の出場者は、10000m 競歩または 3000m 競歩の予選を経た者でもよい。
- 成年男子三段跳には少年男子からもエントリーできる(成年少年いずれか 1 名)。
- 成年女子 5000m 競歩には少年女子からもエントリーできる(成年少年いずれか 1 名)。
- 成年女子棒高跳には、少年女子からもエントリーできる(成年少年いずれか 1 名)。
- 少年男子 B3000m の出場者は、1500m の予選会を経た者でもよい。
- 成年男子・少年男子 A・成年女子・少年女子 A300m の出場者は、100m、200m、400m いずれかの予選会を経た者でもよい。
- 少年男子 A・少年女子 A300m ハードルの出場者は、200m、400m、300m、110m ハードル/100m ハードル、400m ハードルいずれかの予選会を経た者でもよい。

【参加資格】

- 日本国籍であること。
(日本国籍を有しない場合は、(ア)在留資格が永住者、(イ)少年種別に該当し「学校教育法」第 1 条に規定する学校に在籍する少年種別の学生又は生徒で 1 年以上在籍している。また、在留資格が「留学」、「家族滞在」又は「定住者」に該当すること、(ウ)成年種別は、少年種別の際に上記(イ)に該当し、大会参加時から終了時まで在留資格が「留学」に該当しないこと。)
- 日本国籍を有しない者については、学校教育法第 1 条に定める学校に在籍する生徒に限り、少年の種別に各都道府県、男女各 1 名以内で参加することができる。【陸上競技】
- 第 76 回または第 77 回大会(都道府県大会及びブロック大会を含む)に栃木以外の都道府県から出場していないこと。※第 76 回本大会は不参加の扱い
※例外：【成年種別】【少年種別】ともに別途特別国民体育大会実施要項総則 5(1)ウ参照
- 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく公認陸上競技コーチ 3、4 (以上、JAAF 公認コーチ) または、公認陸上競技コーチ 1、2 (以上、JAAF 公認ジュニアコーチ) の資格を有する者とする。なお、監督、選手兼任の場合も同様とする。
- ふるさと選手制度については、特別国民体育大会実施要項総則 5(別記 1 を含む。)の規程による。
- 特別国民体育大会におけるトップアスリート参加資格特例措置対象者(該当種目に限る)については、(公財)日本スポーツ協会が定める特例の内容に準じる。
- その他の参加資格・条件については、別途大会実施要項(総則)および別紙「国民体育大会参加資格について(選手用)」を参照。

※下線部分は昨年度からの主な変更または修正箇所。太下線部分は重要箇所。